

環境経営レポート

2024年度版



作成月:2025年 4月
作成者:加藤 祥樹



朝野工業株式会社

1. 組織の概要

- | | |
|-------------|--|
| (1) 事業所名 | 朝野工業株式会社 |
| (2) 代表者名 | 代表取締役社長 朝野智之 |
| (3) 所在地 | 〒937-0068
富山県魚津市本新町27番5号 |
| (4) 環境管理責任者 | 加藤 祥樹 |
| (5) 担当連絡先 | 電話 0765-24-0375
FAX 0765-24-0377 |
| (6) 事業内容 | 総合建設業 |
| (7) 事業規模 | 資本金 4000万円
設立年月 昭和23年
売上高 22億1,867万円
従業員数 52名 |

2. 対象範囲

- | | |
|---------------|-------------------------------|
| (1) 認証・登録範囲 | 土木・建築・舗装・法面・解体工事の施工及び
施工管理 |
| (2) レポートの対象期間 | 令和6年3月1日から令和7年2月28日 |
| (3) レポートの発行日 | 令和7年4月 1日 |

3. 環境経営方針

私たちは技術と創造力で自然を生かし、住みよい社会を作ります

1. 次のことに重点的に取り組みます。

①電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減

②廃棄物の3R(減量、再使用、再生利用)の推進

③水資源の節約

④環境に配慮した施工の推進

これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2. 環境関連の法規制・業界の取り決め・地域との協定を順守します。

3. 環境への取り組みを環境経営レポートとしてとりまとめ公表します。

4. この方針を全員に周知し全員参加で取り組みます。

制定日:2008年10月 3日

改定日:2020年 3月26日

代表取締役社長 朝野智之

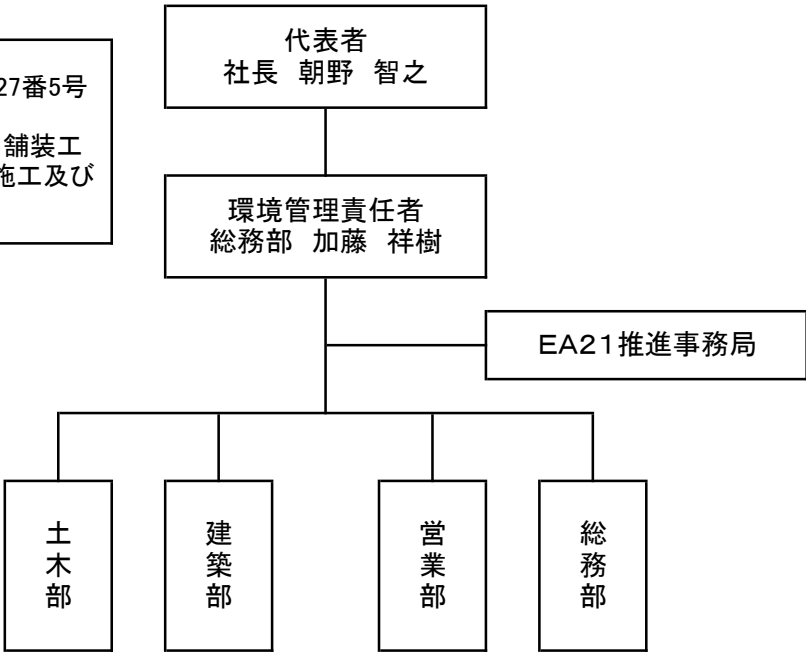
4. 実施体制

作成日: 2024年3月28日
作成者: 加藤 祥樹

朝野工業株式会社 環境経営システム組織図

認証・登録の適用範囲

住所: 富山県魚津市本新町27番5号
関連事業所: なし
活動: 土木工事、建築工事、舗装工事、法面工事、解体工事の施工及び施工管理



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施及び管理に必要な人、設備、費用、時間・能技術者を用意 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員への周知 ・環境目標の設定を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・法規制等の要求事項登録簿を承認 ・環境活動実施計画書を承認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
総務部	・環境管理責任者、EA21推進の事務局 ・環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・「環境関連法規等チェックリスト」の作成 ・環境目標・環境活動実施計画書原案の作成 ・環境活動実施計画の実績集計 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
部門長	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境目標及び環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・必要場合は手順書作成及び運用管理 ・自部門の緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練・記録 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置
全従業員	・環境方針を理解と環境への取組の重要性を自覚 ・EA21について決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

5. 環境経営目標

作成日:令和 6年 3月28日

作成者:加藤祥樹

項目	単位	5年度 基準	6年度目標		7年度目標		8年度目標	
			目標率	目標値	目標率	目標値	目標率	目標値
二酸化炭素排出量	kg-CO2	220,209	-	-	-	-	-	-
電気使用量(※1)	kwh	71,782	99%	71,064	98%	70,346	97%	69,629
ガソリン	L	31,070	99%	30,759	98%	30,449	97%	30,138
軽油	L	38,953	99%	38,563	98%	38,174	97%	37,784
灯油	L	3,925	99%	3,886	98%	3,847	97%	3,807
LPG	kg	30	100%	30	100%	30	100%	30
廃棄物排出量	t	-	-	-	-	-	-	-
一般廃棄物	袋	39	99%	39	98%	38	97%	38
紙類	袋	96	99%	95	98%	94	97%	93
産業廃棄物	t	9,237	100%	9,237	100%	9,237	100%	9,237
上水道使用量	m3	136	99%	135	98%	133	97%	132
オイル流失事故防止	件	0	100%	0	100%	0	100%	0
始業前点検の実施 (点検未実施件数)	件	0	100%	0	100%	0	100%	0

※1 電気使用量の排出係数について、北陸電力の調整後排出係数(令和5年度実績)0.481を使用。

※2 廃棄物排出量について 産業廃棄物量をもって廃棄物排出量とする。

※3 化学物質使用量について 使用していないため項目から除外する。

6. 環境経営活動計画

作成日: 令和 6年 3月23日
作成者: 加藤祥樹

①電力節減対策

- ・不用照明の消灯
- ・エアコンの設定標準化
- ・ウォームビズ・クールビズ
- ・機器の空運転防止

②自動車燃費削減対策

- ・アイドリングストップ
- ・急発進・急停止禁止
- ・冷暖房の適正使用
- ・不用物の積載禁止
- ・タイヤ空気圧の適正化

③ボイラー(暖房器)燃料削減対策

- ・暖房の適正使用
- ・ウォームビズ

④給湯(LPG)燃料削減対策

- ・適切な火力調整

⑤一般廃棄物排出量削減対策

- ・持ち込み量の減量
- ・分別資源化の推進

⑥紙類排出量削減対策

- ・両面利用の推進
- ・印刷ミスを減らす

⑦産業廃棄物削減対策

- ・生コンを余らせない
- ・再資源化率100%維持

⑧水使用量削減対策

- ・節水を心がける

⑨オイル流失事故防止

- ・建設機械の始業前点検実施

⑩始業前点検の実施

- ・始業前点検の実施

7. 環境経営目標の実績

項目	単位	基準値 (5年度)	令和6年度			
			目標率	目標値	実績値	達成率
二酸化炭素排出量	kg-CO2	220,209	-	-	262,724	-
電気使用量	kwh	71,782	99%	71,064	74,140	95.9%
ガソリン	L	31,070	99%	30,759	28,673	107.3%
軽油	L	38,953	99%	38,563	59,089	65.3%
灯油	L	3,925	99%	3,886	3,216	120.8%
LPG	kg	30	100%	30	27	111.3%
廃棄物排出量	t	-	-	-	-	-
一般廃棄物	袋	39	99%	39	33	117.0%
紙類	袋	96	99%	95	106	89.7%
産業廃棄物	t	9,237	100%	9,237	9,749	94.7%
上水道使用量	m3	136	99%	135	142	94.8%
オイル流失事故防止	件	0	100%	0	0	100.0%
始業前点検の実施(未実施件数)	件	0	100%	0	0	100.0%

※ 二酸化炭素排出量について 以下の排出係数を用いて算出している。

電気使用量 0.481(kg-CO2/kWh)

ガソリン 34.6(MJ/L) 0.0671(kg-CO2/MJ)

軽油 38.2(MJ/L) 0.0687(kg-CO2/MJ)

灯油 36.7(MJ/L) 0.0679(kg-CO2/MJ)

給湯燃料(LPG) 50.2(MJ/kg) 0.0598(kg-CO2/MJ)

※ 廃棄物排出量について 産業廃棄物量をもって廃棄物排出量とする。

※ 化学物質使用量について 使用していないため項目から除外する。

8. 環境経営活動の取組結果とその評価、次年度の取組内容

(1) 環境経営活動の取組結果とその評価

項目	結果(達成率)	評価
電気使用量	未達成。 95.9%であった。	達成できず。 受注状況による影響を受けた。(現場事務所や休憩小屋の複数設置が要因。)
ガソリン	達成。 107.3%であった。	問題なし。
軽油	未達成。 65.3%であった。	達成できず。 受注状況による影響を受けた。(重機等の稼働の多い現場が多数あったことが要因)
灯油	達成。 120.8%であった。	問題なし。
LPG	達成。 111.3%であった。	問題なし。
一般廃棄物	達成。 117.0%であった。	問題なし。
紙類	未達成。 89.7%であった。	達成できず。 書庫の整理により一時的に排出量が増加した
産業廃棄物	未達成。 94.7%であった。	達成できず。 受注状況による影響を受けた。(大規模な工事の受注が要因。)
上水道使用量	未達成。 94.8%であった。	達成できず。 受注状況による影響を受けた。(本社人員の増加が要因。)
オイル流失事故防止	達成。 0件であった。	問題なし。
始業前点検の実施	達成。 問題なし。	問題なし。

(1) 環境経営活動の取組結果とその評価

項目		取組の内容	評価
二酸化炭素排出量の抑制	電力節減対策	・不要照明の消灯	△
		・エアコンの設定標準化	△
		・ウォームビズ・クールビズ	○
		・機器の空運転防止	○
		—	—
	自動車燃料削減対策	・アイドリングストップ	○
		・急発進・急ブレーキ禁止	○
		・冷暖房の適正使用	○
		・不要物の積載禁止	○
		・タイヤ空気圧の適正化	○
		・相乗りの推進	△
	ボイラー(暖房機)燃料削減対策	・暖房の適正使用	○
		・ウォームビズ	○
		—	—
	給湯(LPG)燃料削減対策	・適切な火力調整	△
		—	—
廃棄物の排出抑制	一般廃棄物排出量削減対策	・持ち込み量の削減	○
		・分別資源化の推進	○
		—	—
	紙類排出量削減対策	・両面利用の推進	△
		・印刷ミスを減らす	○
		・ペーパーレス化の推進	○
	産業廃棄物削減対策	・生コンを余らせない	△
		—	—
水使用量の抑制	水使用量削減対策	・節水を心がける。	○
		—	—
環境に配慮した施工の推進	オイル流失事故防止	・建設機械の始業前点検実施	○
		—	—
	始業前点検の実施	・始業前点検の実施	○
		—	—

○:取組んだ △:不十分 ×:取組んでいない

(2) 次年度の取組内容

①電力節減対策

- ・不要照明の消灯
- ・エアコンの設定標準化
- ・ウォームビズ・クールビズ
- ・機器の空運転防止

②自動車燃料削減対策

- ・アイドリングストップ
- ・急発進・急ブレーキ禁止
- ・冷暖房の適正使用
- ・不要物の積載禁止
- ・タイヤ空気圧の適正化

③ボイラー(暖房機)燃料削減対策

- ・暖房の適正使用
- ・ウォームビズ

④給湯(LPG)燃料削減対策

- ・適切な火力調整

⑤一般廃棄物排出量削減対策

- ・持ち込み量の削減
- ・分別資源化の推進

⑥紙類排出量削減対策

- ・両面利用の推進
- ・印刷ミスを減らす

⑦産業廃棄物削減対策

- ・生コンを余らせない

⑧水使用量削減対策

- ・節水を心がける。

⑨オイル流失事故防止

- ・建設機械の始業前点検実施

⑩始業前点検の実施

- ・始業前点検の実施

9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

当社が法的義務を受ける環境関連法規（※1）について遵守状況をチェックしたところ、違反はありません。
また、訴訟や苦情および関係当局より違反等の指摘は過去3年間ありません。

（※1）産業物処理法、労働安全衛生法、建設リサイクル法、オフロード、フロン排出抑制法 等

10. 代表者による全体の評価と見直し記録

（適切性、妥当性、有効性の確認）

令和 7年 3月 28日 承認者：朝野智之

見直しに必要な情報		変更の必要性の有無・指示事項
（環境管理責任者の報告）	（環境管理責任者のコメント・提案）	（代表者）
[取組状況の評価結果] ①環境関連法規制等の順守状況 ・取りまとめ（7-6）及びチェック結果（7-7）を参照。 ②環境上の緊急事態の試行及び訓練の状況 ・緊急事態記録（7-9）を参照。 ③是正及び予防処置の状況 ・改善報告書（7-8）を参照。 ④前回までの代表者の指示事項の対応 ・対応した。	[環境方針] ・特になし。	[環境方針] ・特になし。
[目標・環境活動計画の達成状況] ・二酸化炭素排出量…× ・廃棄物排出量………× ・排水量……………× ・オイル流失……………○ ・始業前点検……………○	[目標・環境活動計画] ・軽油について、自社重機稼働率が高くなったため未達成だったが、受注による影響によるため目標の変更をしない。 ・紙について、書庫および雑庫の整理に伴う一時的な増加であったため目標の変更をしない。	変更の必要性： 有 ☒ 無
	[その他の環境経営システムの実施体制] ・特になし。	[目標・環境活動計画] ・承認する。
[周囲の変化状況] ①外部コミュニケーションより ・ガソリン等燃料価格の上昇。 ②環境関連法規制等の動向他 ・特になし。		変更の必要性： 有 ☒ 無
		[環境経営システムの実施体制][その他] ・承認する。
		変更の必要性： 有 ☒ 無